

第41回 ハトマークフェアプレーカップ 東京都10ブロック大会要項

日 程 2022年4月10日, 17日, 29日

会 場 府中少年サッカー場、他

- 大会方式
1. 前年度アスティーク3年生大会が実施されなかったため、全体会議での抽選結果に基づき別紙のとおり組み合わせを決め、トーナメント戦を行う。
 2. 1～3位を中央大会へ推薦する。ただし、推薦に値しないとブロック役員会で判断した場合はその他のチームから推薦する場合がある。

- 参加資格
1. 小学生4年生主体で編成されたチームであること。ただし3年生以下の選手を含める場合、選手の健康・体格・体力・技術等を十分に考慮しチームの責任において出場させる
 2. 複数チームのエントリー及び選手の組み替えについては2021連盟大会要項「複数チームエントリー規定」及び「大会ごとの複数エントリー細則」に準じる。
 3. 移籍については2022連盟大会要項「移籍規定」に準じる。

- 競技規則
1. 下記2項から8項以外は、日本サッカー協会「2021/2022競技規則」による。
 2. 8人制による競技とする。登録選手すべてをエントリーできる。
 - ・前半の試合開始時に両チームとも8人いなければ試合は開始されない。
 - ・試合の進行中に、一方または両方のチームがフィールド上に8人いない場合でも試合は続行されるが、6人未満の場合は試合不成立となる。
 - ・退場を命じられた場合は交替要員の中からすぐに補充できる。
 - ・本大会で退場を命じられた場合、次の1試合に出場できない。警告回数が2に達した場合も同処置とする。
 3. 試合時間は、原則15-5-15分とするが大会の消化状況その他の事情により短縮する場合がある。尚、給水タイムの採否に関しては本部の判断とする。
 4. 同点の場合は、3人によるPK戦にて勝者を決定する。但し、決勝戦は前後半各5分の延長戦を行ったのち、なお同点の場合はPK戦にて勝者を決定する。ペナルティーマークからのキック時に戦術的にゴールキーパーを交代する場合、審判に告げ、選手固有の番号のゴールキーパーユニフォームのシャツのみ着替えること（ブロック大会のみフィールドプレーヤーのサブユニフォームも認める）
 5. ピッチの大きさは、縦60m×横40mを基本とする。できる限りこの大きさにすることが望ましいが、やむをえない場合は各会場の責任者に一任する。
 6. 試合球は4号ボール（本部にて準備、空気圧0.8）使用。スパイクは固定式に限る。
 7. 交替は、交替ゾーンを使用し、主審に通知することなく交替できる。但し、ゴールキーパーの交替はアウトオブプレー中に主審の許可を得て行う。
 8. 試合毎にベンチに入ることができるチーム役員数は、最大5名までとする。2名以上の指導者が必ずベンチ入りすることとし、うち1名以上の有資格指導者（日本協会公認資格D級コーチ以上）がベンチ入りすることを必須とする。1名までのメディカルスタッフを含むことができる。引率責任者は、参加するチームを掌握指導できる責任ある成人であることが必要となる。また、ベンチに入るチーム役員は、事前にコート本部に届け出なければならない。

ベンチ入りする有資格指導者は、指導者証をプリントし、青い紐のカードケースに入れて首から下げること。メディカルスタッフは黄色い紐のカードケースに「メディカルスタッフ」と書かれた黄色いカードを入れて首から下げること。メディカルスタッフは選手の怪我などのケアやアップを担当し、指導や指示はできない。

試合途中やむを得ない事情で指導者が2名未満となる場合は別の指導者を補充できる。

選手に関してはその試合にエントリーした選手だけが入る。

コーチおよびエントリー選手はベンチ入りの際にはマスクを着用すること。（コーチは常時マスク着用）

選手は試合出場時やアップの際にはマスクを外すものとする。ただし、マスクを外してのアップの際には声を出さないこと。

なお、交替要員はユニフォーム姿のままベンチに座らないこと。また、ベンチ入り指導者は選手のユニフォームと異なる色の服を着用すること。

9. ユニフォームについては、実施年度の日本サッカー協会「ユニフォーム規程」および「通達事項（過去を含む）」および東京都中央大会の要項に準じる。
ユニフォームは色の異なる正副2着（正副で番号が揃っているもの）を用意すること。また、胸番は必ず付いていること。なお、正、副のユニフォームは同じ番号とし、大会における選手番号は当該大会期間中において、同じ番号で選手固有のものとする。本部、及び審判部はユニフォームチェックを行わない。両チームがメンバーチェック前に協議し、「はっきりと解る色（もっとも遠い色）」を自主的に判断して着用すること。
ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる。なお、原則、大会におけるピブス着用は不可とする。
ゴールキーパーのショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同じでも良い。
ブロック大会においては、ゴールキーパーユニフォームを選手固有の番号で用意することが難しい場合は、フィールドのサブユニフォームの使用を可とする。サブユニフォームが相手チームのフィールドユニフォームと同じ色の場合は、ピブスでの対応も可能とする。
ソックステープなど外部に着用するものの色は問わない。また、チーム内での統一も必要ない。
10. キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は相手チームのゴールキックで再開する。

- 審判
1. 主審1名、補助審1名の2人制でおこなう。
 2. 派遣審判員制度による割り当てを行う。

- 注意事項
1. 悪天候による中止等は、ブロックホームページで告知する。（ただし、決定時刻の都合により現地集合後の順延決定もあり得る）
 2. 会場準備は大会本部が中心となり、第1試合のチームから各2名以上の協力により行う。会場準備要員はできるだけ会場設営に慣れた人員が担当し、各会場の入場開始時刻に集合すること。（早めに来ないこと）
 3. 参加チームによる代表者ミーティングは行わない。
 4. ユニフォーム正副の本部チェックは行わない。ただし両チームはメンバーチェック前に正副ユニフォームを持ち寄り、別色（もっとも遠い色）のユニフォームを着用すること。（代表者会議時に決めておくことを推奨する）また、胸番は必ず付いていること。
 5. メンバー表は各試合開始30分前までに1枚を本部に提出する事。（連続で試合を消化する場合は速やかに提出）
提出時には登録選手一覧表をプリントアウトしたものを提示すること。
 6. メンバーチェックは、メンバー表に記載されている選手について前の試合終了後（選手退場後）にベンチ前に速やかに集合して行う。第1試合については開始10分前にベンチ前にておこなう。
 7. 第1試合のチームには、試合開始25分前から20分前まで5分間ピッチの使用を認める。ただし、天然芝グラウンドの場合、ピッチ内では練習できない。
 8. 各会場の注意事項をしっかりと把握すること。応援は本部にて決められた場所にて行うこと。特に駐車制限台数、スペースを守り（路上駐車厳禁）、必ず各クラブ作成の「駐車票」を掲示すること。
 9. 本大会にてベンチに入る選手以外（指導者、スタッフ、ベンチ入りする審判要員）で会場入りできるのは、8名までとする。
 10. 会場入りの際には全員がマスクを着用し、ベンチに入る全選手を記載したメンバー表および選手と一緒に会場入りする全員（選手、指導者、スタッフ）の「健康チェックリスト」を本部に提示し、検温し、選手以外は当日配布されるリストバンドを着用しなければならない。
 11. 指導者スタッフ以外の観戦保護者は本部の指定する人数以内に限り、自チーム試合直前に会場入りし、試合終了後速やかに会場から退出すること。複数の試合がある場合は都度入退場を繰り返す。（会場により複数試合の間の時間に会場内の指定されたエリアにとどまることができる場合もある）
 12. 片付けは、最終試合のチームが本部の指示に従い行うこと。